

第20回全国市議会議長会研究フォーラム IN 札幌参加
令和7年8月27日(水)、28日(木)

【地方議員のなり手不足問題の解決に向けて】



概要

【基調講演】 伊吹文明元衆議院議長

「主権を預かる誇りと責任」

【パネルディスカッション】

「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」

- ・コーディネーター 近畿大学法学部教授 辻 陽あきら 氏
- ・パネリスト 東京大学教授 牧原 出 氏

読売新聞東京本社政治部次長 白石 洋一 氏

山口県宇部市議会議長 山下 節子 氏

北海道札幌市議会議長 長内 直也 氏

【課題討議】

「地方議会議員のなり手不足問題の取り組み報告」

- ・コーディネーター 関東学院大学法学部地域創生学科教授 牧瀬 稔 氏
- ・事例報告者 長野県岡谷市議会前議長 今井 康善 氏
鹿児島県南さつま市議会議員 平神 純子 氏
石川県白山市議会議長 中野 進 氏

目的

知立市議会でも前回の選挙は無投票選挙であった。本年度議会改革特別委員会でも問題提起されている「議員のなり手不足問題」や「女性や若者を議員にさせる」などの我々の知らない特効薬があるのか調査するために参加した。

所感

昨年もそうであったが、議員のなり手不足や女性や若者を議員にする特効薬がないことが改めてわかった。今まで通りに議会の役割や意義を地道に伝えていくしかないと思つた。